

## 【第40回国際マーブルヘッドクラス全日本選手権大会参戦記】

2016.09.18~19

2016年9月18、19日の2日間にわたり第40回国際マーブルヘッドクラス全日本選手権大会が行われました。このクラスは10Rクラスに続く大型艇で、実に優雅でダイナミックな走りが期待できます。今回は関東、中部からのエントリーが無く、西日本（関西）の精鋭7艇の激戦となりました。天気予報では台風が西日本に接近中の予報が出ていました。集合しスキッパーズミーティング時はまだ嵐はおろか、雨も降っていません。というか風は弱くかなり穏やかです。私の艇はスイングリグの巨匠石川氏製作のケプラー製ハル（船体）で、昨年譲り受けたばかりの唯一のスイングリグ艇です。チューニングのポイントがまだ定まらないまま少し浅目のチューニングで挑みました。周りは西のツワモノばかりで、かつスイングリグ装備の大型艇でタッキングマッチは有利な戦術とは考えにくいからです。弱めの風の中、抵抗になる風見も付けず上りにこだわった戦略に出ました。スタートも風上1点に絞ってジャストスタートが叶わなくても風上一番スタートを狙いました。やはり大型艇で微風となるとまずはボートスピードを出す為、私以外は上り角度を若干落としての走りを見せていました。台風の予報が気になりながらもこだわった角度が功を奏し1日目（11レース）を安定して上位で終え2位の平尾艇と3点差を死守出来ました。余談ですが、大体1日目はちょっと寝ぼけている為か、中位で2日目に挽回するパターンが多いのですが、今回はトップで折り返しが出来ました。

2日目、台風が少し近づいたのか風向が昨日とは真逆の東へ大きく振れ、風力も順風へと上がってきました。こうなるとやはりの常勝宗助艇と平尾艇が艇の船型を活かした走りで抜きつ抜かれつの走りを見せはじめました。そこへ近年上位の池島艇が割って入る。この3艇に絡まれると一気に順位を持って行かれてしまいます。それを気にしつつ、落としてボートスピードを稼ぎつつ高さを取る走りに徹しました。やはり後半池島艇が4回トップをとり大きく順位を上げてきました。私はトップが取れず、2、3位を取るのがなかなか状況となってきました。やはり練習が少ない状況ではなかなか勝たせてはくれません。今回は合計で21レースと数多くこなせかなり楽しめました。池田33点、平尾艇41点、池島艇44点（21レースで僅か3点差!!）と1日目のマージンで何とか優勝と成りました。数多くのレース運営をして下さったスタッフの皆さまへお礼申し上げます。有難うございました。